

(様式2)

令和6年度学校応援団 特色ある実践事例

学 校 名	実 施 月 日	学校応援団参加延べ人数
柳井市立日積小学校	6 / 7 ~ 3 / 2 1	1 3 1 名
1 活動名 読みあいの会 2 活動内容 本年度、学校として読書活動の推進を目標として掲げる中、第1回学校運営協議会の熟議で、「児童に読み聞かせをしてほしい。」という声が教職員の中からあがった。地域の方に依頼すると協力者を募ってくださり、10名の皆さんで読みあいの会が結成され、活動が始まった。 各学期で活動計画を立て、低・中・高学年に分けて読み聞かせを実施された。毎学期、各学年3回ずつ、計9回の活動を目安に活動された。金曜日の朝の学習の時間（8時10分～25分）に、6～7名来校され、2名程度で2冊の本や紙芝居を朗読していただいた。 読み聞かせ終了後には、当日の活動の振り返りや今後の読み聞かせの内容についての打合せ等をされていた。 3 子どもたちの声 ・大谷翔平の「野球しようぜ！」を読んでもらってうれしかった。 ・宮沢賢治の「雨ニモマケズ」は少しだけ知っていたが、日積弁バージョンを作られていたので、すごいと思った。 ・お雛様のひし餅が、間違って鏡餅や月見団子になっていておもしろかった。 4 学校応援団の方の声（感想など） ・子どもたちが一生懸命聞いてくれて嬉しい。読み聞かせに合わせて体を動かすなど、子どもたちと活動できると、さらに嬉しい。来校することが楽しみである。 ・活動を重ねてきて、子どもたちとの距離が縮まった感じがする。活動がきっかけとなり、他の場所で子どもたちと会ったときも挨拶を交わし合えるようになった。 ・本を通して、子どもたちに新しい世界を広げてもらいたい。 		